

学校だより 4月号

令和5年4月10日

鴻巣市立小谷小学校

【学校教育目標】夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成

小谷つ子

TEL 048 (548) 1004
FAX 048 (547) 1467
URL <http://koya-e.konosu.ed.jp>
e-mail koya-e@city.konosu.ed.jp

毎月19日は「食育の日」です



目標について、いかに考え、取り組むべきか



校長 棚澤 大輔

小谷小学校区では荒川堤防の菜の花や学区のあちらこちらで見られる花々により、うららかな春の訪れを感じることができます。

お子様の進級・入学おめでとうございます。本校は新たに15名の新入生と1名の転入生を迎える、全校児童105名で令和5年度の新学期をスタートすることができました。

今年度は、別表にお示ししましたとおり、総勢27名の職員でスタートすることとなりました。学校教育目標である「夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成」を目指し、教職員一同、一所懸命に教育活動に取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、年度当初のお話ではありますが、先月の本校卒業式における校長式辞の一部を今回の話題とさせていただきます。以下は校長式辞の一部抜粋となります。

「彼は高校生の時に一つの目標を掲げます。それは、「日本のプロ野球八チームから一番に指名されてプロ選手になること」でした。当然彼は毎日、その目標に向かって練習を続けていくことになるのですが、彼はこの大きな目標達成のために必要なことを八つ、そして必要なこと八つそれぞれにやるべきことをさらに八つ、つまり全部で六十四のやるべきことを定め、毎日欠かさず実践したのだそうです。

夢や目標を持つことは、多くの人がすることです。しかし、その夢や目標に向かって頑張り始めてみたものの、具体的になにをがんばればいいのだろうと悩んでいるうちに、いつのまにか夢や目標に向かう気持ちが沈んでしまうことはないでしょうか？彼は、誰もが思い描く夢や目標のために、自分は何をすべきなのかということを具体的に細かく考え、そしてそれを継続していく力があったからこそ、その夢をかなえることができたのです。」

「彼」とは、先月行われていた野球の世界大会（WBC）に出場し、日本チームの中心選手として大活躍を見せてくれた、大谷翔平選手のことです。彼がここまで自分の夢や希望をかなえてきた背景には、上記のような思考と行動力、そしてそれを継続する力があったからこそと言えます。彼は「自分がどこまで出来るかということに関しては制限はいりません。」「僕は、もっともっと、出来ると思います。」（「不可能を可能にする大谷翔平120の思考」大谷翔平著 ぴあ株式会社発行より）とも発言していました。

「どうせだめだろう。」ではなく、「何とかしよう。」という強い意思をもつこと。自分自身が自分に期待し努力を続けていくこと。目標のことも含め、学校やご家庭で子どもに接する際に、これらのことを行っておく必要があると考えます。大人が子どもたちの夢や希望を大切に受け止め、子どもたちの頑張りを認め、その取組を支援していく。教職員一同、子どもたちの夢や希望の実現の一助となれるよう、精一杯取り組んでまいります。

今年度も引き続き、本校の教育活動にご理解とご協力のほどよろしくお願ひいたします。

